

■ 田んぼを取り巻く現状

- ① 農業人口の推移
- ② 主食用米の作付け面積の推移
- ③ 耕作放棄地の面積の推移
- ④ 備蓄用米の在庫推移
- ⑤ 米の消費量の推移
- ⑥ 主食用米の生産量と需要の推移
- ⑦ 食料自給率の推移

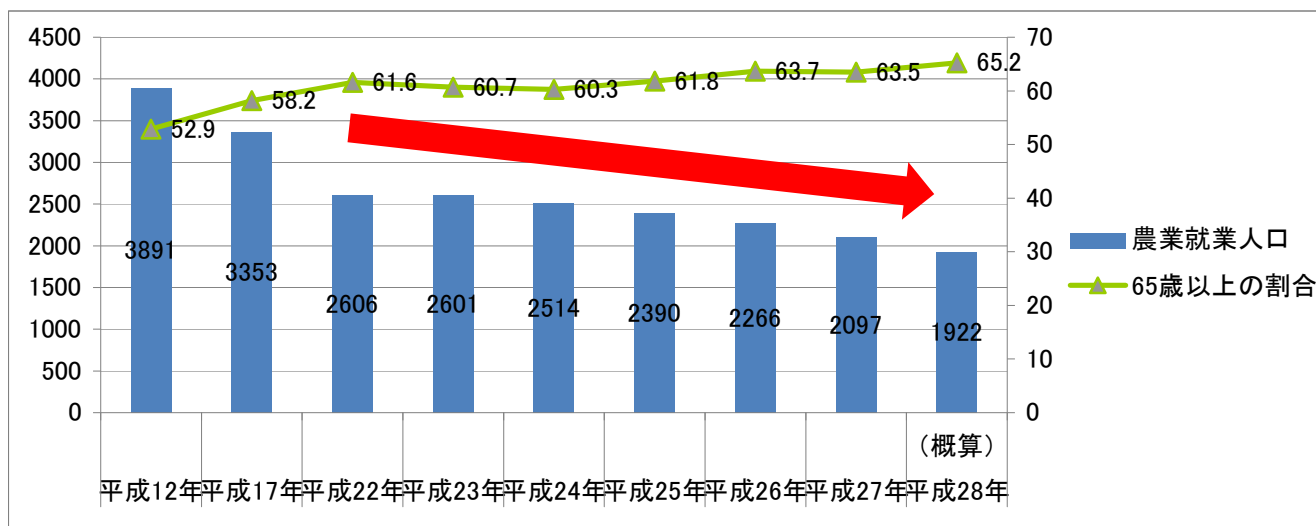
①農業人口の推移

(単位:千人、%)

平成	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年 (概算)
農業就業人口	3891	3353	2606	2601	2514	2390	2266	2097	1922
65歳以上の割合	52.9	58.2	61.6	60.7	60.3	61.8	63.7	63.5	65.2

資料:農林水産省「農業センサス」、「農業構造動態調査」

16年間で約半数に減少



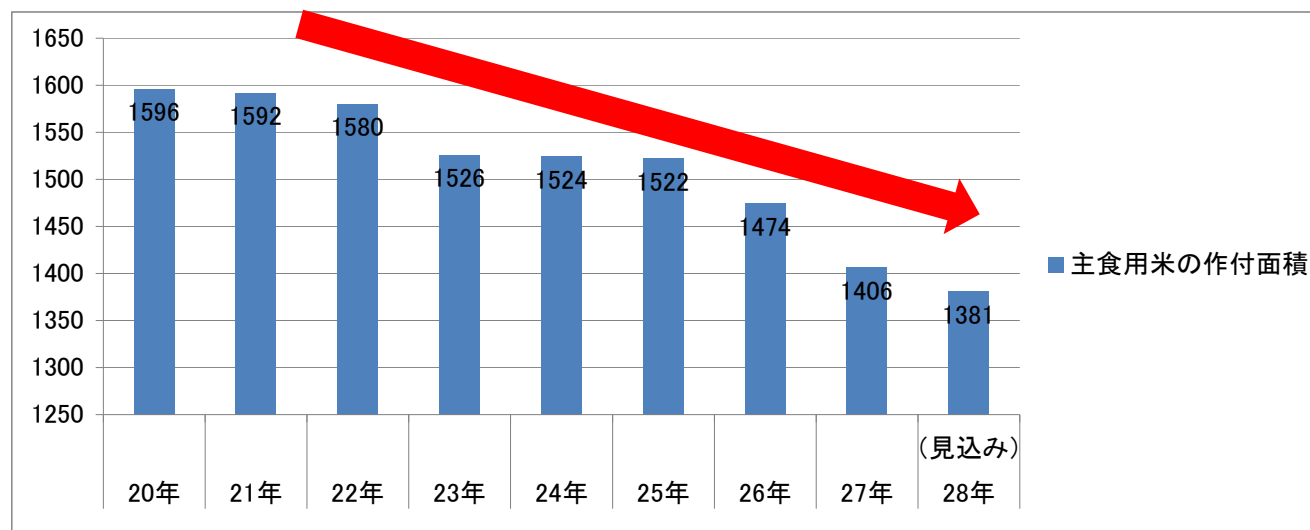
②主食用米の作付け面積

(単位:千ヘクタール)

平成	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年 (見込み)
主食用米の作付面積	1596	1592	1580	1526	1524	1522	1474	1406	1381

資料:農林水産省統計部「作物統計」

8年間で13.5%減少



③耕作放棄地の面積の推移

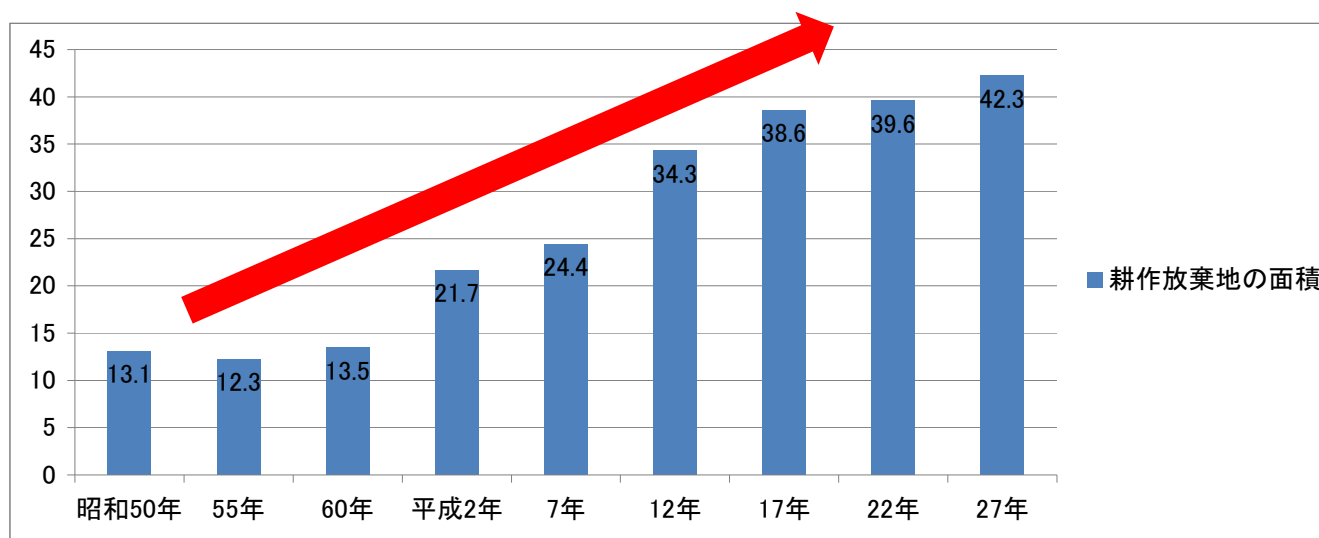
(単位:万ヘクタール)

	昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年
耕作放棄地の面積	13.1	12.3	13.5	21.7	24.4	34.3	38.6	39.6	42.3

資料:農林水産荒廃農地の発生・解消状況に関する調査農林業センサス」

「耕作放棄地」・・・「以前耕作していた土地で過去1年以上作物を作付けせず、この数年の間に作付けする意思のない土地」

40年間で3倍以上に増加



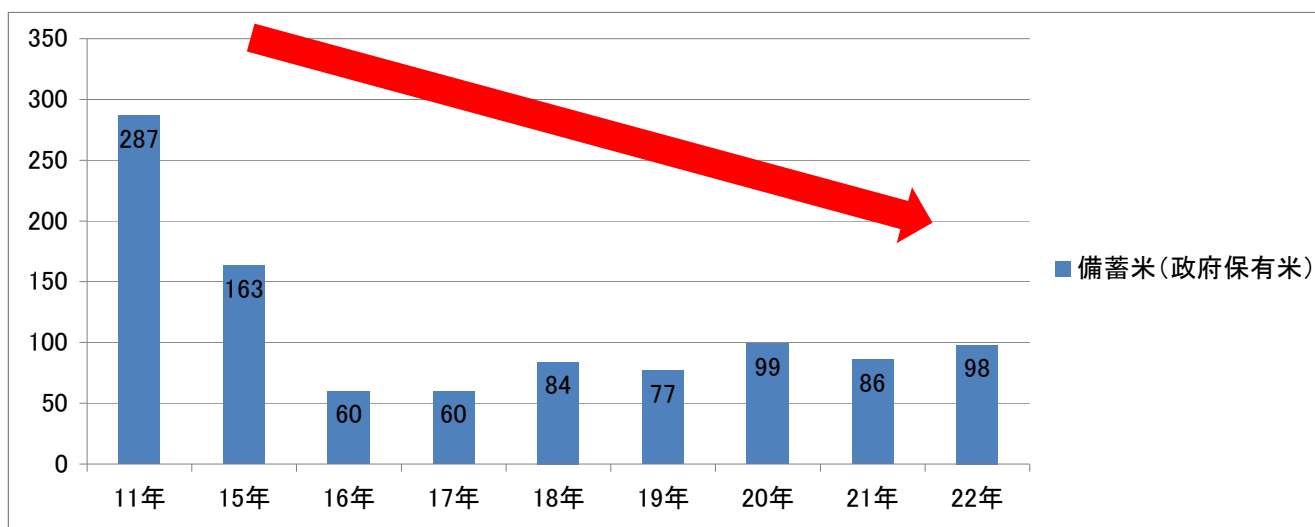
④備蓄米(政府保有米)の在庫推移

(単位:万トン)

平成	11年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年
備蓄米(政府保有米)	287	163	60	60	84	77	99	86	98

資料:農林水産省「最近の米をめぐる関係資料(政府及び民間流通における6月末在庫の推移)」

備蓄米は現在も100万トンを目安に調整
17年前(平成11年)の1/3に減少

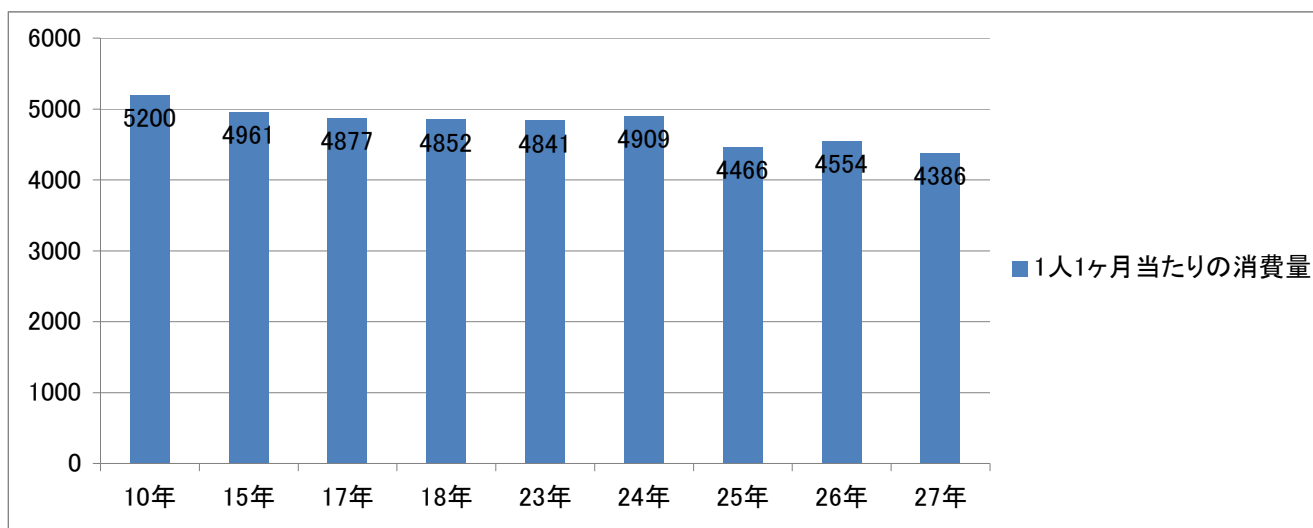


⑤米の消費量の推移

(単位:グラム)

平成	10年	15年	17年	18年	23年	24年	25年	26年	27年
1人1ヶ月当たりの消費量	5200	4961	4877	4852	4841	4909	4466	4554	4386

資料:米穀機構「米の消費動向調査」



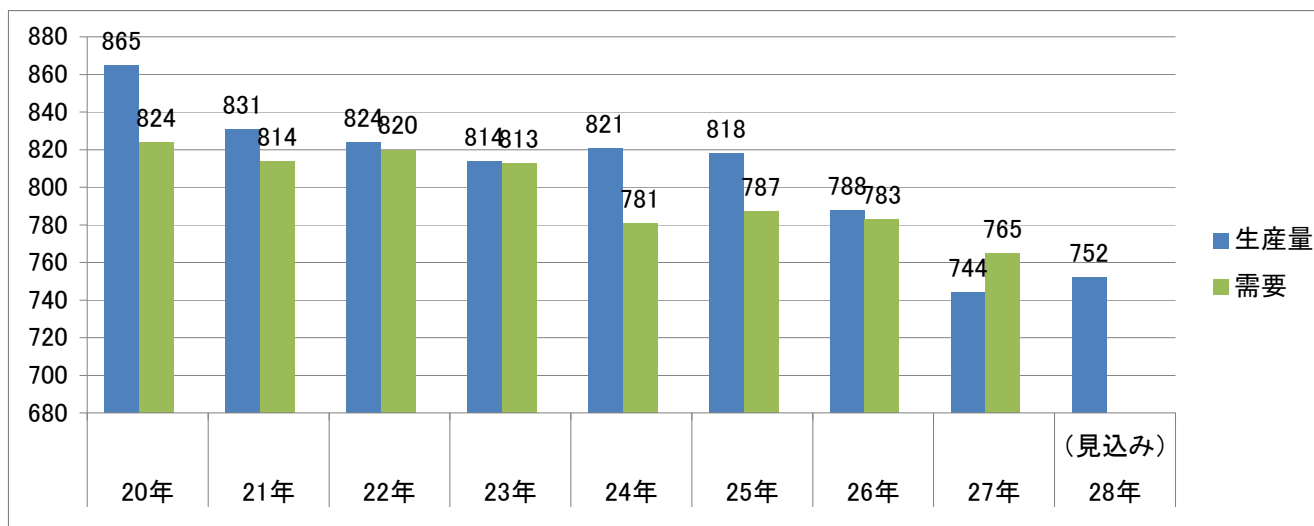
⑥主食用米の生産量と需要の推移

(単位:万トン)

平成	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年 (見込み)
生産量	865	831	824	814	821	818	788	744	752
需要	824	814	820	813	781	787	783	765	

資料:農林水産省「米をめぐる関係資料(平成24年11月)」、農林水産省「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針(平成28年7月)」、農林水産省「平成27年産水陸稲の収穫量」

生産量(供給)と需要はほぼ均衡していて、政府の保有米(備蓄米)でバランスを保っている



⑦食料自給率の推移

(単位:パーセント)

	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年 (概算)
主食用穀物自給率	80	69	69	65	61	59	59	60	60
米自給率					100	100	100	100	100
飼料用を含む 穀物全体の自給率	62	40	31	30	28	27	28	29	29
供給熱量ベースの 総合食料自給率	73	54	53	43	40	39	39	39	39
生産額ベースの 総合食料自給率	86	83	82	74	69	69	65	64	66

資料:農林水産省「食料需給表(平成27年度)」

